

ある年の始め、友人と正月気分で占いをしてもらいました。私は11月生まれです。その時28才になったばかりでした。

ところが、私の生年月日を聞いたその占いのオジさんは言ったのです。

「今年30才ですね」

一瞬、何のことかわかりませんでした。私は28才、という強い信念がありましたので、何を言っているんだろう、と

さえ思ったのですが、気がつきました。つまり、「かぞえの30」だったので

そして理解した後はショックが襲ってきました。「そうか、かぞえでいうと、もう30才なのか」

曾祖母が生きていたころは、「かぞえの〇才」という表現をよく使いました。

が、現在はほとんど死語に等しくなっています。

以前は、年があける11年をとる、という

ことでした。「年の変わり」というの

が今より重要な意味をもっていたわけです。それだけに、年末は家中で大掃除にばかり、清め、お正月を迎えました。

今では「年の変わり」とは単なるカレンダー上の意味しかもちません。おせち料理を作る家も少なくなり、大掃除をするよりも、家中でスキーに行ったり、ホテルに泊まったり、という家が増えまし

た。

しかし、私個人は年をとるにつれて「年が変わる」という「切りかえ」のよ

うなものが好きになってきました。別に神道を信じているわけではありません

が、神社で「今年もよい年でありますように」手をあわせて厳肅な気持になるのも悪くないな、と思うのです。

だから、最近では自然に思います。というよりあの時のショックがまだ尾をひいているのかもしれないが、年末になると「また、年をとるんだな」

今年も終わり。また年をとります。

幼児の教育 第八十六巻 第十二号

十二月号 ©

定価 四〇〇円

昭和六十二年十一月二十五日 印刷

昭和六十二年十二月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。